

平成 30 年 6 月 25 日
電気学会 産業応用部門 半導体電力変換技術委員会
委員長 船渡 寛人 (宇都宮大学)
企画担当 萬年 智介 (東京理科大学)
小原 秀嶺 (横浜国立大学)

2018 年度 学生・若手技術者向け海外研究室見学及び技術交流会 参加者募集要項

国内の博士課程学生や若手技術者を対象として、海外研究室の訪問機会を提供することを目的としています。この訪問を通じて、海外におけるパワーエレクトロニクスの研究の実情を実感してもらい、さらに、海外の研究者・学生との交流を促すことで将来に繋がる双方の関係の発展を期待します。

1. ラボツアーの概要

アメリカ・ポートランドにて開催される国際会議 ECCE 2018 (9/23~27)にあわせて、マサチューセッツ工科大学(MIT)を訪問し、研究施設・内容の視察および技術交流会を開催します。

訪問先: The RLE Power Electronics Research Group, MIT (Prof. David Perreault)

<http://www.rle.mit.edu/per/home/>

2. スケジュール (状況に応じて、若干変更する場合があります)

9/27(木) 夜 ポートランド国際空港(ECCE 会場最寄) 出発 機内泊

9/28(金) 朝 ボストン ローガン国際空港(訪問先最寄) 到着

9/28(金) 午後 研究室訪問及び技術交流会

13:00 ~ 14:00 ラボツアー参加者からのプレゼン (日本側の研究紹介)

14:00 ~ ラボツアー (MIT の研究紹介, デモンストレーション)

18:00 ~ Prof. David Perreault および研究室メンバーとの夕食

ボストン周辺にて各自宿泊

9/29(土) 朝 解散 各自空港より帰国。

研究室訪問及び技術交流会は 9/28(金)午後のみの実施予定です。宿泊・移動に関しては、参加者への情報提供を行いますが、手配は参加者各自でお願いします。

3. 参加に必要な費用

研究室訪問及び技術交流会にかかわる費用は、基本的に参加者の自己負担となります。

費用の概算

交通費: ポートランド→ボストン(空路) 25,000 円

宿泊費: ボストン周辺のホテル(2名1室) 10,000 円

その他、空港から MIT へのタクシー代(7 km)や夕食会も実費負担。

4. 学生参加者に対する参加費用の助成

学生の参加者に対しては、交通費・宿泊費として1人あたり35,000円を10名に助成します。
助成を希望する学生参加者が10名を超えた場合は、助成対象者を選考するか1人あたりの支給額を減額します。助成を希望せずに参加することも可能です。

5. 参加者の応募資格と募集数について

応募資格: 電気学会 産業応用部門の会員である若手技術者または学生
募集数: 最大20名程度 (MIT側の受け入れ体制によって変更の可能性あり)
国際会議 ECCE2018 への参加や発表の有無は問いません。

6. 選考について

参加者:

希望者多数の場合は、博士後期課程の学生、博士課程を志す修士課程の学生、若手技術者の順で優先します。ただし、参加者の研究テーマによっては、優先順位を変更する場合があります。

参加費用の助成 (学生のみ):

博士後期課程の学生を優先します。希望者が10人を超える場合、助成対象者を選考するか1人あたりの支給額を減額します。選考が必要な場合は、希望者の研究内容も考慮して助成対象者を決定します。

7. 募集期間と応募方法

募集期間: 平成30年6月25日(月)~7月 ~~6日(金)~~ **13日(金)** まで延長しました

応募方法: 応募様式に必要事項を記入のうえ、メールに添付

応募先: 東京理科大学 万年 智介 (mannen@rs.tus.ac.jp)

横浜国立大学 小原 秀嶺 (obara-hidemine-mh@ynu.ac.jp) の2名宛て(To フィールド)

ラボツアー中に問題が発生した場合、担当者が支援を行います。基本は自己責任となります。万
一に備え、各自で海外保険に加入しておいてください。

8. 主催

産業応用部門 半導体電力変換技術委員会

委員長 船渡 寛人 (宇都宮大学)

企画担当 万年 智介 (東京理科大学)、小原 秀嶺 (横浜国立大学)

9. 共催

産業応用部門 国際委員会

委員長 玉井 伸三 (東芝三菱電機産業システム)

PPEJ (Ph.D. candidates of Power Electronics in Japan)

代表 飯嶋 竜司 (筑波大学)

以上

